

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次
37304	介護概論 Care for the Elder & Handicapped	中村 教子	専門	2	選択	1・2年 前期
科目の概要						
介護職が利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを学び、介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的な視点等を習得し、介護職に求められる専門性、職業倫理、職務におけるリスクとその対応、介護を必要としている人の個別性、その人の生活を支える支援について理解をする。 専門的知識・技能を習得し、これらを活用することができることを身に付ける。						
学習・教育内容				達成目標		
① 利用者の尊厳ある暮らしを支える介護者の役割について学び介護者の役割について考察する。				① 介護職の役割について考察することができる。		
② 介護職の専門性、職業倫理について学び専門性、職業倫理が理解する。				② 介護職の専門性・職業倫理を説明することができる		
③ 介護におけるリスク・対策について学び対応について説明できる。				③ 介護におけるリスク・対応策を説明することができる。		
④ 自立支援・介護予防について学び自立支援、予防を理解できる				④ 自立支援・介護予防を説明することができる。		
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動例				
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	一度やり始めたことは最後までやりとげることができる。				
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力					
	創造力	物事を考える時に、多様性を持ち、いろいろな方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確な文書で表すことができる。				
	傾聴力	グループワークで、グループのメンバーの意見を聴き、更に自分の意見を述べるができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	講義に支障をきたす行動をせず講義、グループワークが円滑に進むようにルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト: 一般財団法人 長寿社会開発センター 第1巻人間と社会 介護1 介護職員初任者研修テキスト編集部 参考文献: なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連: 介護初任者研修科目 資格との関連: 介護初任者研修資格						
学習上の助言				受講生とのルール		
配布プリントや資料は自分のノートとともに整理しておくこと。				講義で配布する資料の予備は保管しません。出席者からコピーさせてもらって下さい。		

【評価方法】

評価方法	評価の割合	達成目標		各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	40	①	✓	毎回の小テストの点数を平均して判定する
		③	✓	① 授業内容を理解できているか確認する
		④	✓	② 出題範囲は前回の授業で指示する。
		⑤	✓	
レポート	40	①	✓	小課題を複数回、出題する。
		④	✓	実施時期テーマは講義中に随時講義時に指示をする。
		⑤	✓	基礎内容を理解し、自身の見解を論理的な文章で論じているか評価する
		④	✓	① 課題を適切に捉えているか。
				② 基本概念、語句の理解をしているか。
				③ 重要なポイントを押さえているか。
成果発表 (口頭・実技)	10	①	✓	第11回～14回の理解度を確保する為成果発表を行う
		②	✓	発表レジュメ2点 プレゼンテーションの成果3点
		③	✓	① 課題を理解している
		④	✓	② ポイントを押さえている
				③ 説明の明瞭さを説明できる
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	受講態度(遅刻、欠席、学修意欲欠如)が見られる場合は3点を減点する。
		②	✓	(規律性)
		③	✓	グループワーク等で「あいづち」「うなづき」等話を聞く姿勢ができています。(傾聴力)
		④	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【達成目標の目安】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
介護における人間の尊厳と自立、尊厳の保持・自立支援について文献を調べそれに基づき自分の意見を述べるができる。(①) 介護職に求められる専門性と職業倫理について文献を調べそれに基づき自分の意見を述べるができる。(②) S(秀)=①+②、A(優)=①又は②	介護における人間の尊厳と自立、尊厳の保持・自立支援が説明できる。(①) 介護職に求められる専門性と職業倫理が説明できる。(②) B(良)=①+②、C(可)=①又は②

週	学習・教育内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	達成レベル C(可)の目安	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	科目「介護概論」について全容を理解する。	講義等	介護職員初任者研修課程との関連が理解でき説明できる。	(復習)教科書構成を確認する。 (予習)新聞記事を探し問題点を見つける	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	人権と尊厳の保持等についての考え方を理解する。	講義 事例等 達成度チェック 講義開始時復習内容の質問に答えフィードバックする	個人の尊厳、アドボカシー、エンパワメント、ICF、尊厳ある暮らしについて説明できる。	(復習)教科書「人権の尊厳と保持」の章に記載されている達成度チェック復習(予習)QOL章を読んでくる事。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	QOL(Quality of Life)について理解を深める。	講義 事例等 達成度チェック 講義開始時復習内容の質問に答えフィードバックする	QOL、生活の質について理解を深め説明できる。	(復習)教科書「QOL」の章に記載されている達成度チェック復習。 (予習)次週のノーマライゼーションの章を読んでくる事。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	ノーマライゼーションとの意義について理解を深める。	講義 事例等 達成度チェック 講義開始時復習内容の質問に答えフィードバックする	ノーマライゼーションについて理解を説明できる。	(復習)教科書「ノーマライゼーション」の章に記載されている達成度チェック復習。 (予習)次週の虐待防止、身体拘束禁止の章を読んでくる事。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	虐待防止、身体拘束禁止について学ぶ。	講義 事例等 達成度チェック 講義開始時復習内容の質問に答えフィードバックする	身体拘束禁止、高齢者虐待防止法、高齢者の介護支援について学び説明できる。	(復習)教科書「虐待防止、身体拘束禁止」の章に記載されている達成度チェック復習。(予習)次週の個人の権利を守る制度の章を読んでくる事。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	個人の権利を守る制度について学ぶ。	講義 事例等 達成度チェック 講義開始時復習内容の質問に答えフィードバックする	個人情報保護法、成年後見制度、日常生活自立支援事業について学び説明できる。	(復習)教科書「個人の権利を守る制度」の章に記載されている達成度チェック復習。(予習)次週のQOLの章を読んでくる事。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	自立に向けた介護、自立支援、介護予防について理解する。	講義 事例等 達成度チェック 講義開始時復習内容の質問に答えフィードバックする	自立に向けた介護、自立支援、介護予防について理解し説明できる。	(復習)教科書「自立に向けた介護、自立支援、介護予防」の章に記載されている達成度チェック復習。(予習)次週の介護職の役割の章を読んでくる事。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	介護職の役割、専門性と他職種との連携(1)について学ぶ。	講義 事例等 達成度チェック 講義開始時復習内容の質問に答えフィードバックする	介護環境の特徴、専門性について理解を深める説明できる。	(復習)教科書「介護職の役割」の章に記載されている達成度チェック復習。(予習)次週の専門性と他職種との連携の章を読んでくる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名:①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力
⑨柔軟性 ⑩状況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力

週	学習・教育内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	達成レベル C(可)の目安	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	介護職の役割、専門性と他職種との連携(2)について理解を深める。	講義事例等 達成度チェック 講義開始時復習内容の質問に答えフィードバックする	介護に関わる職種、チームケアにおける役割分担について理解を深める説明できる。	(復習)教科書「他職種との連携」の章に記載されている達成度チェック復習。(予習)次週の介護職の職業倫理の章を読んでくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	介護職の職業倫理の重要性について考える。	講義事例等 達成度チェック 講義開始時復習内容の質問に答えフィードバックする	介護の倫理、介護職としての社会責任、プライバシーの保護・尊重について理解を深める考えを述べる事ができる。	(復習)教科書「介護職の職業倫理」の章に記載されている達成度チェック復習。(予習)次週の介護における安全確保の章を読んでくる事。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	介護における安全確保について学ぶ。	講義発表等 達成度チェック 講義開始時復習内容の質問に答えフィードバックする	事故に結びつけ要因、対応技術、リスクハザード等について学び発表できる。	(復習)教科書「おける安全確保」の章に記載されている達成度チェック復習。(予習)次週の事故予防、安全対策の章を読んでくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	事故予防、安全対策について学ぶ。	講義発表等 わかりやすく相手に理解してもらうことを意識した発表、フィードバック 達成度チェック	リスクマネジメント等について学び、発表できる。	(復習)教科書「事故予防、安全対策」の章に記載されている達成度チェック復習。(予習)次週の感染対策Ⅰの章を読んでくる事。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	感染対策について理解を深める。	講義発表等 わかりやすく相手に理解してもらうことを意識した発表 フィードバック 達成度チェック	感染の原因、経路について学び、事例を用いて発表できる。	(復習)教科書「感染対策の章を読んでくる事。」の章に記載されている達成度チェック復習。(予習)次週の介護職の心身の健康管理の章を読んでくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	介護職の心身の健康管理について考える。	講義発表等 わかりやすく相手に理解してもらうことを意識した発表 フィードバック 達成度チェック	介護職の心身の健康管理、ストレスマネジメントについて考え発表できる。	(復習)教科書前回までの達成度チェック復習。(予習)教科書全体の振り返り、確認をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	「介護概論」を通しての学んできた事を考えまとめる。	講義レポート 講義開始時復習内容の質問に答えフィードバックする	14回までの講義を振り返り、考えを整理し、レポートに纏めることができる。	達成度チェックのためのレポート作成に向けた復習	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名:①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力
⑨柔軟性 ⑩情況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力